

「地域に開かれた学校」から
「地域とともにある学校」へ

平成29年度コミュニティ・スクール実践事例集



行田市教育委員会

「地域とともにある学校」をめざして

これからの学校は、変化の厳しい社会の動向にしっかりと目を向け、教育課程を工夫して、教育活動を展開することが求められています。それには、子供や学校の抱える課題の解決や未来を担う子供たちの豊かな成長のために「社会総掛かりでの教育の実現」が不可欠です。

そこで、地域でどのような子供たちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを地域住民の皆様と共有し、地域と一体となって子供たちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校」へと転換していくことを目指し、コミュニティ・スクールを推進します。

目 次

「地域とともにある学校を」をめざして	1
実践の概要	2
コミュニティ・スクール実践事例	
1 「元気な子供たちを育てる学校づくり」 ～地域・家庭・学校が一枚岩となって～ 行田市立東小学校	3
2 「夢がある 元気がある 楽しさがある みんなの学校をめざして」 行田市立南小学校	4
3 「地域とともにある特色ある学校づくりのために」 行田市立北小学校	5
4 「地域と共に創る須加小コミュニティ・スクール」 ～ふるさと須加を愛し、ふるさと須加の将来を担う児童の育成～ 行田市立須加小学校	6
5 「地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクールさきたま」 行田市立埼玉小学校	7
6 「協力の双方向性」から「Win - Winの関係づくり」をめざして 行田市立行田中学校	8

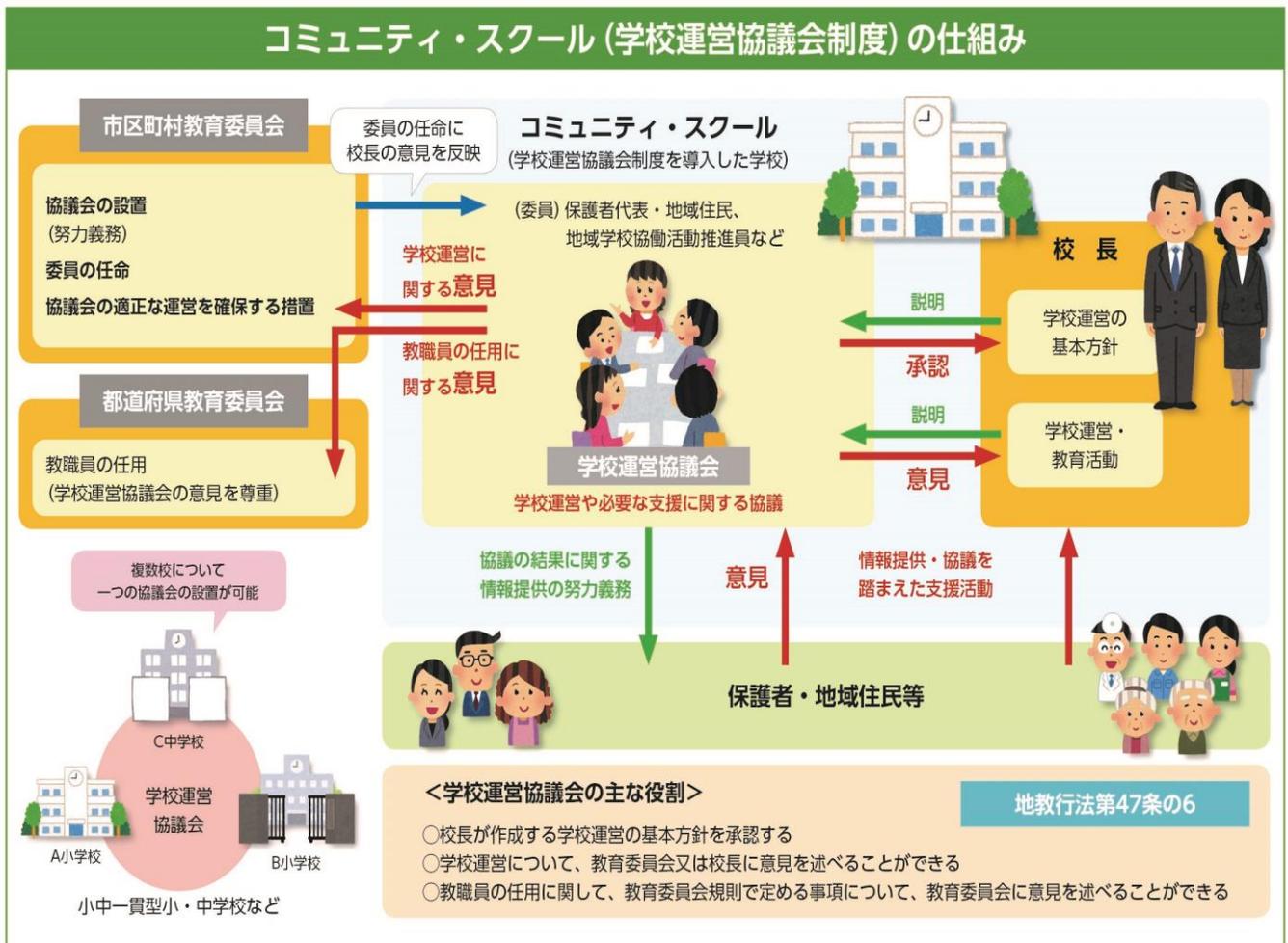
実践の概要

行田市教育行政重点施策の主要事業としてコミュニティ・スクールの導入・充実を推進します。今年度、小中学校6校がコミュニティ・スクールとしてスタートしました。

【主な取組】

- 学校運営協議会交付式・運営協議会委員の委嘱状交付式並びに講演会 4月26日
- コミュニティ・スクール設置校訪問、学校運営協議会視察 5月～
- 行田市コミュニティ・スクール設置校研究協議会 9月8日
- 行田市コミュニティ・スクール「地域とともにある学校づくり」研修会 2月14日

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



(文部科学省：コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組みより)

コミュニティ・スクール導入の効果

- 学校・家庭・地域の相互理解
- 家庭・地域の学校支援による教育力の向上
- 家庭・地域の教育力向上による地域の活性化



学校運営協議会

「元気な子供たちを育てる学校づくり～地域・家庭・学校が一枚岩となって～」

行田市立東小学校

【導入の目的】

○地域住民、保護者の学校運営への参画を促進し、相互の信頼関係を深め、三者が一体となって学校運営の改善及び子供たちの健全育成に取り組むことを目的としています。

【実践の経過】

①5/19 東小学校運営協議会発足式 ②6/30 第2回運営協議会・学期末PTA学習参観 ③7/15 夏の懇談会 ④9/27 学校公開日 ⑤10/28 第3回運営協議会・東小教育の日学習参観 ⑥12/15 冬の懇談会 ⑦3/2 第4回運営協議会・学年末PTA学習参観

【組織の概要】

学校運営協議会：会長1、副会長1、委員8

＜企画・立案・運営・評価＞

地 域	学 習	環境・安	子育て	評価・広
連携部	支援部	全部	支援部	報部

＜学校応援団・PTA・学校教職員との連携＞

↓	↓	↓	↓	↓
【PTA】	【応援団】	【応援団】	【PTA】	【PTA】
○保健体 育部○リ サイクル	○図書 ○体験 ○読聞せ	○環境 ○見守り	○成人 教育	○広報

【取組の工夫】

○長野公民館とのコラボ学習として公民館の図書室に「学習プリントコーナー」を設置して、以下の方法で学力の向上をめざしています。

- ・図書室で算数のプリントに取り組む→プリントは学校で担任に提出する→学校で採点をし→採点したプリントを本人に返す（間違った所を教えてあげる）

○地域の行事に児童や教職員が参加し、地域の方々との交流を図っています。

＜例：長野の獅子舞…江戸時代の中頃に、久伊豆神社の祭礼の日に始められたと言われています。災難よけ、五穀豊穡のために行われるようになったそうです。＞

○夏季休業日の前に学校運営協議会、学校応援団、地域の方々との学校教職員が一緒になって学区内にある全ての公園を回り、危険箇所をチェックし、1学期の終業式の際に映像にして子供たちに見せ、十分注意するように注意喚起をしました。

○5年生の音楽で「日本の伝統楽器」を習う際、地域の「琴の先生」においでいただき、琴についての説明、琴の模範演奏、琴を弾く実技指導をしていただき、子供たちは日本古来から伝わる楽器の特徴とその奏法を興味深く学ぶことができました。

○行田市の夏の風物詩「浮き城まつり」に6年生を中心とした子供たちが参加をし「ソーレソーレ！」と力強く掛け声を響かせながら市内を踊り歩きます。事前に地域の大澤先生に「だんべ踊り」のご指導をいただき、盛り上がりしました。

○毎月2回程度、学校運営協議会、学校応援団、PTAの役員の方々にお世話になり校内環境の整備として木の枝おろし、除草、花の苗の植え込み等を行っています。



【成果】

○学校運営協議会での話し合いにより、本年度はまず、地域をあげて東小の子供たちの「学力向上」をめざしました。公民館とのコラボ学習により子供たち、保護者の方々の意識も向上してきています。

○地域・保護者の方々为学校運営に参画してくださっているので、これまで以上に、三者で同じ方向を向いて、協力しながら、健やかな子供たちの成長のためにいろいろなことができるようになりました。

○学校運営協議会から学校経営・運営に関して承認を得ているので自信をもって進めることができました。

○学校の施設管理に関して、多方面からこれまで以上の協力をいただくことができるようになりました。

「夢がある 元気がある 楽しさがある みんなの学校をめざして」

行田市立南小学校

【導入の目的】

体験活動や地域との交流等を通して、児童の「生きる力」(智・表現・自立)を育成することを目的としました。

【実践の経過】

- ・ 5月17日(水) 第1回学校運営協議会
- ・ 7月3日(月) 第2回学校運営協議会
- ・ 12月4日(月) 第3回学校運営協議会
- ・ 3月7日(水) 第4回学校運営協議会

【組織の概要】

【学校運営協議会】

委員：自治会長
民生児童委員
学識経験者
学校関係者

←説明
承認→
←説明
意見→

【校長】

・ 学校運営の
基本方針
・ 学校運営や
教育活動

↓説明 ↑意見

※地域行事に参加

保護者・地域の皆さん

【取組の工夫】

3つの組織(①「学習支援」②「安全見守り地域連携」③「環境整備」)を作成して、運営協議会委員で役割を分担し、活動に取り組みました。

①「学習支援」(学習の支援を充実させるため、地域人材を児童の学習の場につなげる活動)

下記の活動で支援いただきました。(下記は、活用学年「学習内容」を表示しています。)

1年「昔遊び」、2年「サツマイモ植え」、3年「七輪体験」、5年「調理」「裁縫」「ミシン」、
6年「調理」「裁縫」「ミシン」



②「安全見守り地域連携」(児童の登下校の安全見守りや地域行事と子どもをつなげる活動)



※八坂祭には「だんべ踊り」で参加しました。

③「環境整備」(学校の学習環境を高める・保持する活動)



【成果】

・ 行田中学校と本校のコミュニティ・スクールの運営協議会委員が6名重なっているため、行田中学校との連携した取組を、以下の内容で持ちました。

- ①本校校門で行田中学校生徒会によるあいさつ運動を年間6回、
- ②職員合同研修会を3回、
- ③サマースクールや陸上練習で中学生の指導5回、
- ④中学国語の出前授業1回、
- ⑤中学校体験入学
- ⑥学校運営協議会合同開催(7月3日)、
- ⑦佐間天神社八坂祭だんべ踊り練習会

・ 地域行事に参加して、児童・保護者が地域の皆様と絆を深めました。

・ 児童に関わっていただいた地域の方々から、児童に対する多くの励ましが届けられています。

地域とともにある特色ある学校づくりのために

行田市立北小学校

【導入の目的】

「地域とともにある特色ある学校づくり」推進のため、学校、家庭、地域が一体となって、それぞれの責任と役割を果たせるよう、コミュニティ・スクールを導入しました。

【実践の経過】

- 5月 2日（火）第1回 学校運営協議会
- 9月 6日（水）第2回 学校運営協議会
- 10月28日（土）第3回 学校運営協議会
- 3月 2日（金）第4回 学校運営協議会

【組織の概要】

コミュニティ・スクール北小

【学校】
校長
教頭
教職員

基本方針説明→

← 承認

学校運営

教育活動説明→

← 意見

↑
組織的な連携・協働

【連携する活動】

- ・青少年健全育成会
- ・おやじの会
- ・学校応援団
- ・地域防災対策協議会
- ・その他

【学校運営協議会メンバー】

- ・前 学校関係者評価委員長
- ・前 学校評議員の皆さん（5名）
- ・地区と関わりのある方々
星河地区自治会連合会長
やごう幼稚園園長
- ・保護者の方々
PTA会長、副会長（1名）
- ・子どもたちの安心・安全に関わる方々
主任児童委員
星河地区体育協会会長
- ・学校応援団の方々
見守り隊長
読み聞かせボランティア代表
おやじの会会長

【北小学校の取組】

- 「地域とともにある特色ある学校づくり」推進のため、学校運営協議会を中心に、家庭や地域の様々な組織、団体と組織的・継続的な連携・協働体制づくりに取り組みました。
- スクールプランを中心に、学校・家庭・地域が共通のビジョンをもった教育活動を行いました。
- 児童が安全で楽しく笑顔で過ごせる学校・地域づくりを推進するため、学校・家庭・地域が積極的に交流できる活動に取り組みました。
- ◇ 地区青少年健全育成会と連携し、古代米を使った「地産地消」啓発のための取組を行いました。
- ◇ 子どもたちの安全・安心のため、学校が核となって「北小学区地域防災対策連絡協議会」を開催しました。また、「オヤジの会」が中心となり、「防災キャンプ（避難所体験会）」も実施しました。
- ◇ 学校運営協議会委員からの意見を踏まえ、学力向上のための新しい取組「ぐんぐんタイム」「ぐんぐんノート」を始めました。



「地産地消」の啓発活動



地域防災対策連絡協議会



防災キャンプで避難所体験

【成果】

- 学校運営協議会に参加していただいた委員の方々を核として、地域との情報共有や連携を推進することができました。このことで、学校に対する地域の方々の関心も高まり、様々な形で学校への支援・協力体制が強化されています。次年度は、学校からの情報発信を工夫し、これまで以上に学校・家庭・地域が一体感をもって特色ある学校づくりを進めたいと思います。

地域の子供達を育てていくこと 子供達の豊かな育ちを確保すること
地域と共に創る須加小コミュニティ・スクール
 「ふるさと須加を愛し、ふるさと須加の将来を担う児童の育成」

【導入の目的】

須加小学校は、子供の「学び」と「育ち」を地域と共に考え協働するために学校運営協議会を設置しました。地域ぐるみで子供達を育む「地域と共に創る学校」を目指し、これまで以上に学校、家庭、地域が一体となった教育活動を展開していきます。

【実践の経過】

運営協議会全5回実施

6月30日、7月18日、11月30日
 1月29日、2月23日

各会とも学習参観の後、熟議を行いました。
 夏の除草作業、11月4日の学校まつり等
 様々な学校行事にも参加していただきました。

【取組の工夫】

- 学校運営協議会での「熟議」の実施
 全5回の協議会開催において、子供達の活動を参観いただくとともに、「ふるさと須加を担う児童」を育成するための意見交換や熟議を実施しました。学校運営協議会委員の意見を集約し、「地域の一人たる子供たち」を、学校・家庭・地域が一体となって育てていくという結論に至りました。



- 自治会との連携強化
 学校運営協議会で意見を出し合い、学校運営協議会委員の一人である自治連会長を通じて親子除草の人員拡大に向け、各自治会に伝えました。結果、親子除草はもちろん、これまで以上に、様々な学校行事にたくさんの地域の方々の参加をいただくことができました。

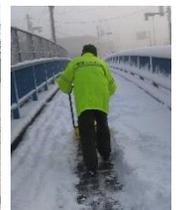
- 学校応援団活動の活性化
 これまで実施してきた学校応援団活動がさらに活性化され、学習活動をはじめ、通学路の安全確保、環境整備など、様々な面で例年以上に充実した取組を実施することができました。



青大豆の豆腐づくりの様子



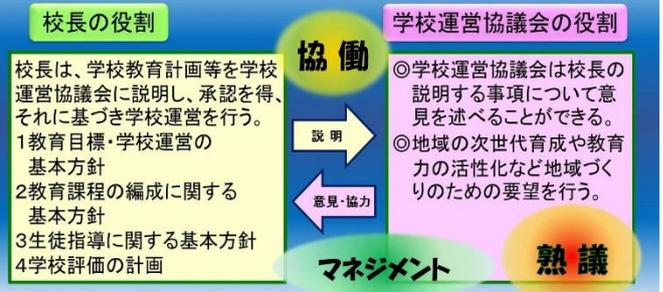
通学路、登下校の安全確保



【組織の概要】



学校運営協議会の実際



夏の親子除草では、例年の3倍もの方々のご協力をいただくことができました。

【成果】

- 学校運営協議会での熟議において、今後の取組について建設的な意見をいただくことで、地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができました。
- 学校運営協議会委員や地域の方々と、目指す子供像を共有し、連携した取組が進められました。
- 地域人材を活用した教育活動を充実させることができました。
- 地域と学校とが協力し合って子供達を共に育てていくことへの意識が高まりました。
- 小中連携、接続が強化されました。

「地域や保護者と共にあるコミュニティ・スクールさきたま」

行田市立埼玉小学校

【導入の目的】

学校と地域が、連携・協働し、当事者意識をもって子供たちの成長を支えていく学校づくりを進めていくことを目指してコミュニティ・スクールを導入しました。

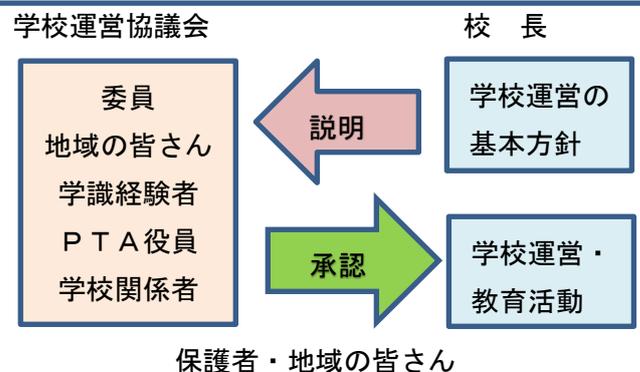
【実践の経過】

・学校運営協議会 全4回実施

第1回 6月30日 第2回 9月12日

第3回 12月14日 第4回 2月26日

【組織の概要】



【取組の工夫】

○地域の文化や伝統を生かした教育活動

学校、地域、家庭が連携して教育活動を行っています。3年生からの活動の主なものは以下の通りです。

3年生 ①百万遍、②手踊り、③獅子祭り、④ささら獅子舞

4年生 ①熊本県和水町古墳祭との交流

5年生 ①勾玉作り、②採火筒作り、③火祭り講話

6年生 ①火祭り参加、②雅楽体験

地域の伝統・文化に触れることから、ふるさとさきたまを愛する気持ちが育っています。また、地域の方々とふれあう場面が増えたことは、豊かな心を育くむ一助となっています。

○学校運営協議会での協議の充実

学校運営協議会では、委員の皆様との協議の時間を大切にしています。目指す児童像を共有し、そのために具体的に何ができるかを話し合いました。学校と地域が同一歩調で子供たちを育てていくことができます。

○小中合同防犯会議・小中合同防犯訓練(小中連携の推進)

学校と地域、警察等が連携して、児童・生徒の安全教育を推進しています。

「小中合同防犯会議・小中合同防犯訓練」(毎年5月に実施)



【火祭り】



【学校運営協議会】



【小中合同防犯訓練】

【成果】

○学校運営協議会では、「どのような子供を育てたいか」、「具体的にどのような取組ができるか」等の協議を行い、目指す児童像等を共有しました。その結果、学校に対する家庭、地域等の意識は高まり、学校への支援体制が強化できました。

「協力の双方向性」から「Win-Winの関係づくり」をめざして

行田市立行田中学校

【導入の目的】

本校は、今までも地域の一員であることを強く意識してきました。これからは、学校と地域の「協力の双方向性」だけでなく、「Win-Winの関係」をより重視していきたいと考え、コミュニティ・スクールを導入しました。

【実践の経過】

- ・ 5月11日 第1回運営協議会
 - ・ 7月 3日 第2回運営協議会（南小と合同開催）
 - ・ 8月 8日 現地研修会「足袋蔵のまち行田」
 - ・ 1月29日 第3回運営協議会
 - ・ 3月16日 第4回運営協議会
- その他 授業、体育祭、合唱コンクール等の参観

【組織の概要】



【取組の工夫】

○運営協議会の意見をもとに行った小・中合同の地域行事の取組

本校は昨年から、地元の八坂祭に「行中連」を組み参加していましたが、南小と合同の運営協議会にて、小と中で一緒にお祭りに参加してほしいという意見が出されました。話し合いの後、南小に指導に行き当日は合同連を組み、地元の人と一緒にお祭りを盛り上げました。



○運営協議会メンバーの学校参画

コミュニティ・スクール発足後、協議会のメンバーの方が、地域の人たちと一緒に学校にお手伝いに来ていただいています。本校の学校応援団の機能も果たしてもらっています。

樹木の大規模剪定（年3回）、月に1度の絵本の読み聞かせ、3年生の補習授業の講師、体育祭時の手づくり足袋の提供、草刈り機を導入した除草、手づくりコンサート時の荷物の運搬等

○運営協議会の広報・PR

運営協議会の紹介や生徒の地域行事への参加、協議会メンバーの学校への協力の様子などを「学校だより」



「PTA広報紙」「ホームページ」等で保護者・地域に積極的に広報・PRしています。

○運営協議会と共に行った合同研修会

夏季休業中に、本校と南小・下忍小3校の教職員で「足袋蔵のまち行田を巡る」現地研修会を実施しました。その際、運営協議会のメンバーやPTA役員の方にも参加を呼びかけ、共に有意義な研修会を行うことができました。

【成果】

○学校運営協議会発足1年目、学校と地域が情報や課題、目標を共有するための「仕組み」と、地域とともに歩むよい「きっかけ」ができました。今後はコミュニティ・スクールを核に、本校の経営目標である「地域が行田中を誇りに思う」学校づくりを推進していきたいと思ひます。